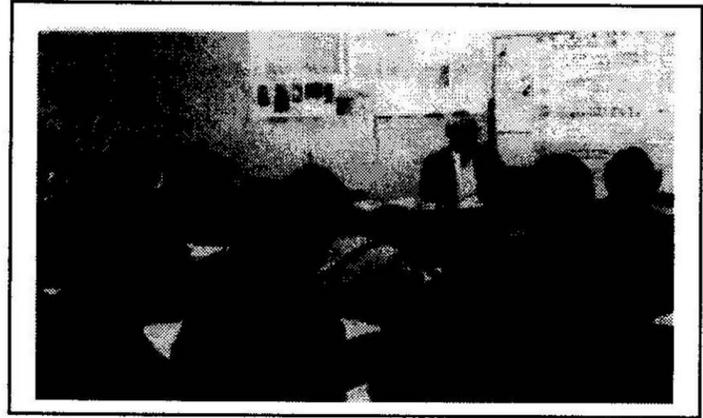


平和への関心の強さを示した

土浦母親大会（平和分科会）

土浦母親大会は12月7日神立コミュニティーセンターにおいて開かれ100人余の参加者で成功裏に終了しました。平和の会が担当した第2分科会「平和へのメッセージ」は30人が参加して、中村恵一さんの人間魚雷「回天」の体験、新婦人の会内田さんの「わが子の自衛隊体験」実態調査についての報告、つくば大生草野さんの高校生平和大使として国連本部や欧州各国で核兵器廃絶を訴えた経験、平和大使OBとともに「21世紀平和ネットワーク」をたちあげ平和運動を続けている報告がおこなわれ、イラク派兵など平和についての多彩な意見も出されました。



イラク派兵反対陳情不採択（土浦市議会）

平和を求める土浦市民連絡会、新日本婦人の会土浦支部、土浦平和の会が12月土浦市議会に提出した“自衛隊のイラク派遣に反対する陳情書”は、市議会において出席議員31人中賛成8で不採択になりました。公明党の承認によって先遣隊が派遣された後の世論調査でも派遣反対が多数を占めているのに3分の1にすぎないということは、土浦市議会においては民意が反映されないということかもしれません。新聞報道によれば、全国の多くの地方議会において政府・衆参両院に対する意見書が採択されている中、茨城においては水戸市議会が唯一“慎重に検討”の意見書を採択しただけで、“派遣反対”の意見書はありません。

9日陸上自衛隊の派遣命令が出され、いよいよ“先遣隊”がイラクの戦場に向かいます。出発を前にして石破防衛庁長官が「報道の自粛」を申し入れるという異常な事態にもかかわらず特措法の「戦闘の行われていない地域」を逸脱して、なにがなんでも「派遣ありき」という政府の姿勢は本当に恐ろしさを覚えます。現地入りした自衛隊が攻撃されて被害を被った場合、政府は「非常事態」を宣言して「有事」といいだすのではないのでしょうか。その判断は一人小泉首相にかかっているわけです。

活動ごよみ

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 12・7 土浦母親大会（神立コミセン） | 12・20 イラク学習会・ピースウォーク
（日本共産党南部地区委員会主催） |
| 12・8 イラク派兵反対チラシ配り
（陸自補給処・航空学校周辺） | 1・4 土浦革新懇新年会（福来軒） |
| 12・8 母親連絡会赤紙くばり（土浦駅） | 1・10 母親連絡会新年会（神立さん吉） |
| 12・18 平和の会理事会・忘年会（利右衛門） | 1・20 平和の会理事会（神立コミセン） |
| | 2・11 百里初午祭（百里） |